

【第3報・最終】C2名古屋第二環状自動車道 関係車両の接触事故

【発生日時】 2026年5月1日（金） 11：05

【発生場所】 愛知県名古屋市北区池花町 地内（県道161号線）

【工事件名】 2026年度 東名高速道路 ●●管内維持修繕業務

【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)

【概 要】

工事のチラシ配布のためメンテ社員が連絡車で一般道を移動中、楠JCT付近の県道161号線（片側2車線）に脇道から左折で合流しようとしたところ、車体が第二車線にはみ出してしまい第二車線を直進してきた軽ワゴン車両と接触したものの。

【被害状況】 人的被害：相手なし・当方なし
物的被害：相手 車両左側 側面損傷
当方 車両右側 前方損傷

【時 系 列】

5月1日 11：05 事故発生
11：08 警察へ連絡
11：15 当事者からメンテ現場代理人に第一報
11：25 警察到着
11：35 メンテ現場代理人から保全計画課長に報告
11：45 メンテ本社へ報告、警察離脱
16：30 安全大会実施

【報 道 等】 なし

【原 因】

- ・車長に対する感覚が出来ていなかったため第二車線にはみ出していることを認識していなかった。
- ・左車線に進入するつもりであったため、左車線の安全確認のみで進入する近道行動した。
- ・信号待ち滞留中の車両および雨天により右車線が見えにくかった。
- ・一時停止した際にハンドルを切った状態で停止したため、ハンドルの感覚が掴みにくかった。

【対 策】

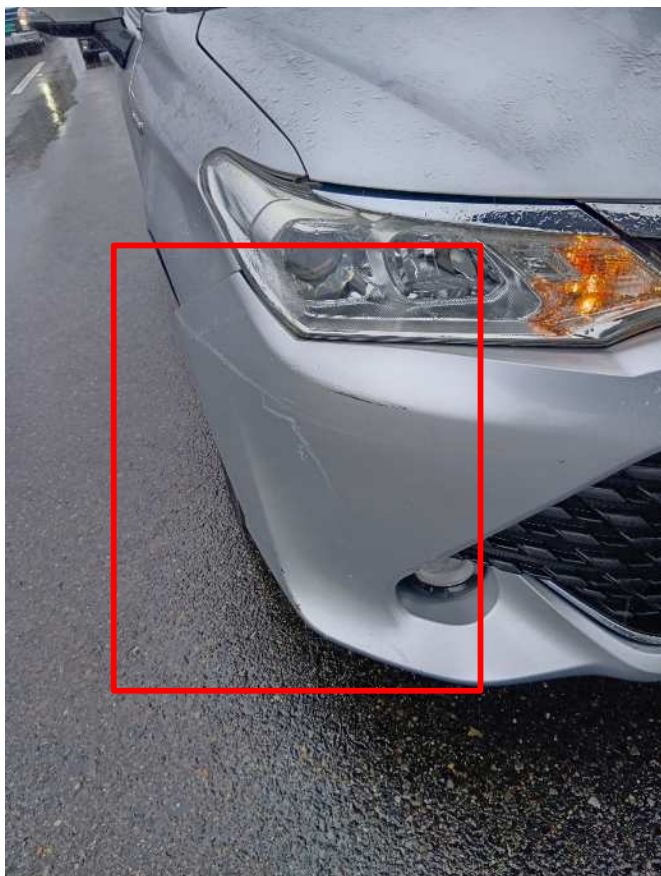
- ・当事者は安全運転診断を受講して自身の技能について再確認を行う。また上長が把握することにより個々へ指導を通じて運転技能向上を図る。
 - ・名古屋事業所独自のハザードマップにて追記し、事故事例として新規教育、安全大会にて注意喚起する。また、雨天時等の朝礼時でも注意を促す。（PPTにて新規教育等の資料追加）
- ※なお、助手席に同乗する者も安全確認を行い運転手に注意を促す。

【位置図】



【事故状況】

当方



相手



【事故状況】

事故状況①



事故状況②

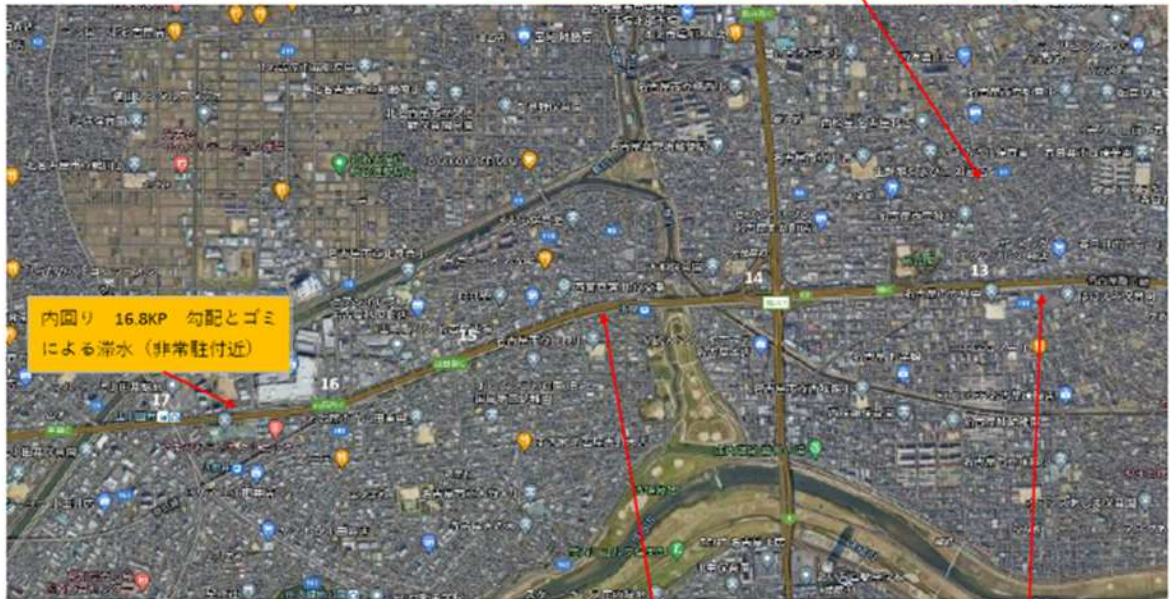


ハザードマップ名二環(抜粋)

No08

勝川一平田

2026.5.1 (11.05) 名古屋市北区池花町(県道161号線)
車線はみ出しによる一般車との接触事故



・凡例

白	事故事例
黄	注意箇所
橙	緊急事例

外回り 14.7KP 橋梁排水樹
清掃時の302号への水もれ

内回り 12.6KP (50m位)
遮音壁 アンカー切断

一般道での関係車両の接触事故

【発生日時】 2026年5月1日(金)11:05

【発生場所】 愛知県名古屋市北区池花町 地内(県道161号線)

【概要】 工事のチラシ配布のため連絡車で一般道を移動中、楠JCT付近の県道161号線(片側2車線)に脇道から左折で合流しようとしたところ、車体が右車線にはみ出してしまい右側から右車線を直進してきた軽ワゴン車両と接触したもの。

【原因】

- ・車長に対する感覚が出来ていなかったため右側車線にはみ出していることを認識していなかった。
- ・左車線に進入するため、左車線の安全確認のみで進入する近道行動した。・信号待ち滞留中の車両および雨天により右車線が見えにくかった。
- ・一時停止した際にハンドルを切った状態で停止したため、ハンドル角度の感覚が掴みにくかった。

【対策】

- ・当事者は安全運転診断を受講して自身の技能について再確認を行う。また上長が把握することにより個々へ指導を通じて運転技能向上を図る。
- ・運転中は左右確認を徹底する。発進時はもう一度、確認する。・右左折時は、片側2車線区間では2車線の安全を目視で確認する。
- ・助手席に同乗する者も安全確認を行い運転手に注意を促す。

